

盟友の思いよ届け

最優秀賞に奥田さん、岩根さん

青壮年部発表大会を9月4日、パシオンで開き「盟友の主張発表大会」「組織活動実績発表」「チャレンジ事業コンペティション大会」を行いました。



盟友の主張発表大会

最優秀賞に菊池支部の奥田奨さん

奥田さんは「30年後、私たちはどう生きるのか」と題して発表。農地が工業用地や宅地に転用されている現状を問題視し、地域との連携強化や生産効率の向上、農地の集約化の重要性を述べ、農業の未来を見据えて30年後どう生きるのかを提言しました。

※菊池・泗水・菊陽の盟友が農業、農村、JA、青壮年部に関して将来に向けての希望、意見、提言を発表しました。

組織活動実績発表

合志支部の坂本悠三さんが「志を合わせて」と題し発表

減少する盟友たちが親睦を深めながら、地域の小学生を対象に稲作体験などを継続し、後継者育成のための食農教育をどのように進めていくかを支部の活動を通して発表しました。

- 奥田さんと坂本さんは、10月22日に熊本市で開かれる県大会に出場します。

チャレンジ事業コンペティション大会

最優秀賞に旭志支部の岩根太一さん

岩根さんは「超音波画像診断装置(エコー)を用いた、繁殖成績の向上」と題して発表。エコーを導入することで、直腸検査と併用し検診精度をあげ、人工授精の精度が高まり、繁殖回転率が上がることや受精卵の受胎率向上などに効果が得られることなどを述べ必要性を訴えました。

※七城・旭志・大津・菊陽の盟友が新たな取り組みへのチャレンジを発表。JA菊池の独自の大会として9回目となりました。最優秀賞受賞者には、副賞として青壮年部委員長賞10万円、JA菊池賞50万円が授与され、賞金を元手にチャレンジ事業を実践。次年度の大会で成果を発表することになっています。「自らの経営を考え、所得向上を目指し、刺激し合い、地域を担う農業者として自立しよう」との思いで始めた大会です。



菊陽
大地 雅弘さん

大津
栗原 輝幸さん

七城
城 憲治さん

泗水
内田 光祐さん

菊池
奥田さん

旭志
岩根さん

西合志
浦田 諒さん

合志
坂本さん

発表者のみなさん